

2023年度

崇城大学パイロット養成プログラム

(履修証明プログラム)

崇城大学パイロット養成プログラム（以下、「本プログラム」）概要

*本プログラムは従前の「研究生制度」に替わるものです

【目的】

エアラインパイロットとしての基本的な姿勢や考え方、および基礎的な操縦技量について修得することを最大の目的とする。また、世界的なパイロットの人材不足が叫ばれる中、パイロット養成の一助を担い社会貢献を果たす。

【特徴】

工学部宇宙航空システム工学科航空操縦学専攻（以下、操縦学専攻）の持つ優位性を履修証明プログラムにも活用し、本学の機材や教官によりエアラインパイロットの養成を行います。

それに加え、パイロット業務ではコミュニケーション能力やチームワーク力が求められることから、本学では技術面はもちろんパイロットとしての考え方（精神面）や生活習慣を養うことを目的に本学空港キャンパス内に寮を構え、集団生活をする事としております。以上のような取組を実施し、本プログラムにおいて即戦力となる人材育成を目指します。

操縦学専攻の優位性：

本学は工学部宇宙航空システム工学科に航空操縦学専攻を設置し、国内で唯一の空港に直結したキャンパスで一貫教育を実施し、エアラインを目指すパイロットの養成を行っており、以下の優位性があると考えております。

1. 国内一貫教育

日本の航空法・慣習の中で飛行する知識および経験を積むことは、就職後日本国内を飛ぶ際に優位になります。なぜなら、General Aviationから推移した諸外国と日本では安全等に関する基本姿勢が異なるからです。事故調査などでも差異が明らかなように日本では厳格な規則遵守を求めるため、諸外国と比べ飛行術の細かな点においても違いがあると言われています。また、小型機専用の空港ではなく、熊本空港という民間のジェット機が離発着する空港で飛行訓練を実施する本学では、エアラインで実践する管制通信を初期課程から経験することができます。

上記の点は次に示す本学の就職実績や一部エアラインより乗員養成訓練の委託を受けていることから見えるように、航空会社から高い評価をいただいていると考えております。

就職先：エアー・ドゥ（ADO）ANAウィングス（AKX）全日本空輸（ANA）
ピーチアビエーション（APJ）フジドリームエアラインズ（FDA）
アイベックスエアラインズ（IBX）日本エアーコミューター（JAC）
日本航空（JAL）ジェットスター・ジャパン（JJP）ジエイエア（JLJ）
日本トランスオーシャン（JTA）オリエンタルエアブリッジ（ORC）
琉球エアーコミューター（RAC）スターフライヤー（SFJ）
スプリング・ジャパン（SJO）スカイマーク（SKY）ソラシドエア（SNA）

※本プログラムでは一部海外で訓練を行う場合もあります。

2. 自前主義

本学は自前の教官・施設で訓練を行っています。本学では機材・教官・整備士・施設の全てを本学が所有または採用したもので責任ある体制を構築しています。また、この特性を活かし、資格取得後も就職まで手厚いサポートが可能となっています。

3. 経験豊かな教授・教官陣

本学では、エアラインで長年機長を務めてきた者や、自衛隊でパイロット養成にかかわってきた経験豊富な者が教授・教官として直接教育・訓練にあたっています。ベテランパイロットが自らの豊富な経験を伝授し、エアラインパイロットへと指導します。

4. 実習機・飛行訓練装置を活用した訓練

本学で選定した実習機のセスナとダイヤモンド DA42NG はともに長年に渡り飛行訓練の初期課程使用機材として利用されており、訓練に適した飛行特性・耐久性（強度）を備えています。

エアライン就職に必要な事業用操縦士技能証明、多発限定、及び計器飛行証明の資格取得訓練は、1人で飛行する能力を確認します。一方、エアラインの飛行機は2人で運航するため2人で飛行する技術が必要となります。本学では就職後のエアライン副操縦士昇格訓練が円滑に進むように、飛行訓練装置としてB737FTDを配備し、2人で飛行する技術やジェットの計器・速度を体験する応用訓練も実施しております。

【総時間数】

637.5時間

※訓練の進捗度により総時間数が増加する可能性があります。

【内容】

HP掲載内容参照

【修了要件】

JCAB試験に合格し、以下を取得

- ・事業用操縦士技能証明（単発および多発）
- ・計器飛行証明

修了論文に合格すること

【単位授与の有無】

本プログラム全体および各講義に対する単位認定はありません。

【実施体制】

崇城大学 工学部宇宙航空システム工学科 航空機操縦訓練本部

受講に関する手続等

【受講資格】

1. 4年制大学を卒業した者またはこれと同等以上の資格を有する者
2. 身体検査基準
 - ① 2022年4月1日以降に受診し、航空身体検査基準（第1種）に適合する者。
 - ② オルソケラトロジー（コンタクトレンズによる屈折矯正術）による矯正を行っていないこと。
3. 英語能力
2021年4月1日以降に受験したIELTS™が5.5以上であること。（オーバーオールバンドスコア【Academic moduleに限る】）
もしくは、TOEIC®L&R TESTのOfficial Score Certificate, TOEIC®L&R TESTのIP Score Reportが700点以上であること。
※英語能力を証明できる資格は他にもありますが、上記テストを判断材料としますので、未受験の方は、出願までに上記いずれかのテストを受験してください。
※TOEICはオンラインの結果は対象外とします。

【出願期間について】

出願期間は、2022年10月31日（月）～2022年11月4日（金）（**必着**）までとなっております。

後述する提出資料に漏れの無いよう（記入漏れや修正等を含む）準備をお願いします。

【出願方法について】

後述の【提出書類一覧】に記載の書類をご準備いただき、上記出願期間内に出願してください。

なお、「7. 検定料払込証明書」は紙媒体（写メール等データ不可）であれば、振込先に納入した際に発行される利用明細等でも受付可能です。言い換えれば、検定料を指定の振込先に振り込んだことが分かるものであれば受付可能であり、証明書という形式にはこだわりません。

【検定料の振込先】

本プログラムの選考における検定料振込先

検定料振込先：三菱東京UFJ銀行

熊本支店 当座 9011356

学校法人君が淵学園 理事長 中山峰男

がくり キカブチガクエン リンヂョウ カヤミ材

【定員】

若干名

【提出書類一覧】

受講希望者は下記に示す書類をご提出ください。

1. 志願書（所定の様式により作成すること）
 2. 自己申告書（所定の様式により作成すること：直筆、800字程度）
 3. 履歴書（任意の様式による）
 4. IELTS公式の成績証明書（Test Report Form）（写し可）または
TOEIC公式認定証・IP Score Report（写し可）
 5. 「航空機操縦練習許可申請書」の写しまたは「航空身体検査証明申請書」の写し
※下記（注1）を必ずご一読の上、第1種適合が判断できる書類を提出すること
 6. 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書
 7. 検定料払込証明書（入学検定料3万円を支払った証明書を同封すること）
- その他、写真（添付用として、志願書および履歴書にそれぞれ写真を添付すること）

<注意点>

- ・卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書は最終学歴のものを提出すること。
- ・「航空機操縦練習許可申請書」または「航空身体検査証明申請書」の写しは、必ず2022年4月1日以降に国土交通大臣の指定した医療機関（注1）で受診し、発行されたもの。
- ・写真のサイズは、4cm（タテ）×3cm（ヨコ）。
- ・履歴書において、IELTSのスコアおよびTOEIC®L&R TESTのOfficial Score Certificate, TOEIC®L&R TESTのIP Score Reportの点数を記載すること。また、航空無線通信士の資格を取得している方は、履歴書の取得資格の欄に記入をすること。

（注1）国土交通大臣の指定した医療機関については、[国土交通省のホームページ](https://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000743.html)
[（https://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000743.html）](https://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000743.html) 記載の

「[「航空身体検査指定機関一覧」（PDF形式）](#)」が参考になります。

受診される際には事前に各検査機関にお問合せの上、予約が必要です。また、

第1種に適合するか否かを記載頂くよう検査機関にお伝えください。

（注2）「航空医学研究センター」では個人での申し込みができませんので、別の検査機関にて受診をお願い致します。

【選考方法および選考結果】

選考方法

- ・一次選考に合格した方のみ二次選考に進んでいただきます。
 - (1) 一次選考 書類選考
 - (2) 二次選考 面接（口頭試問）、適性等の結果を総合して判断する

選考結果（合否結果）

- ・選考結果については、下記の通りとする。

	(1) 一次選考	(2) 二次選考
合格発表	11月中旬以降	12月2日（金）
通知方法	本人宛に郵送	本人宛に郵送

- ・選考結果については、本人宛に郵送にて通知します。
電話、メール等による合否の問い合わせには一切応じません。
※なお、合否結果の通知につきましては、合格発表日に発送いたしますので地域によっては2～3日かかる場合があります。

【選考日】

2022年11月20日（日）

- ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、延期または中止になる可能性がございます。

【選考日程】

区分	願書受付期間	試験日	合格発表日
1次選考	2022年10月31日（月）～	書類選考	11月中旬以降
2次選考	2022年11月4日（金）（必着）	11月20日（日）	12月2日（金）

【受講料等について】

受講に係る費用は下記の通りです。

本プログラムの受講料

19,860,000円

内訳

(単位：円)

	1年目	2年目	計
検定料	30,000	—	30,000
入学金	30,000	—	30,000
授業料	400,000	400,000	800,000
訓練に係る実習費	9,500,000	9,500,000	19,000,000
	(4,750,000 ずつ2回の分割払い)	(4,750,000 ずつ2回の分割払い)	
計	9,960,000	9,900,000	19,860,000

※そのほか、本プログラム開始に際し、教材・実地試験料等500,000円程度および、入寮費60,000円、寮費55,000円/月、の費用がかかります。

また、希望者はインターネット利用（有線LAN）が1,000円/月で可能です。

(2021/5月現在)

海外訓練を行う場合は、VISA取得費用他100,000円程度の費用がかかります。

※受講開始から30か月間を超えて在学する場合、半年ごとに受講費用として別途200,000円の費用がかかります。

※なお、一旦納入された納入金に関しては、ご返金できませんのでご注意ください。

【受講手続きについて】

受講手続は入学金、授業料及び実習費を納入することにより完了します。納入期限までに、受講許可書に同封の振込用紙を使用して入学手続きを行ってください。

<訓練に係る実習費>は半期分となります。

納入期限	12月20日（月）
金額	5,180,000円

※所定の期日までに手続きを完了しない場合は、受講が許可されません。

【手続きに関する連絡先、郵送先】

宛 先 崇城大学 教務課
郵便番号 860-0082
住 所 熊本市西区池田4丁目22-1
E-mail kyomu@ofc.sojo-u.ac.jp
緊急連絡先 096-326-3406 (直通)
受付時間 平日8:30~17:30 (土日祝日は窓口を休止しております。)
※回答にお時間を要することがございますので、予めご了承ください。また、原則として
E-mailにてお問い合わせをお願いいたします。

【訓練・内容に関する連絡先】

宛 先 崇城大学 空港キャンパス
郵便番号 869-1104
住 所 熊本県菊池郡菊陽町大字戸次 1569-1
電 話 096-285-6493 (直通)
E-mail pilot@arsp.sojo-u.ac.jp
受付時間 平日8:30~17:30 (土日祝日は窓口を休止しております。)

【受講場所】 空港キャンパス MAP



履修証明書

第20〇〇-00001号

学生番号	9999999	氏名	航空 太郎	生年月日	西暦00年00月00日 生
------	---------	----	-------	------	---------------

学校教育法第百五条の規定に基づき、本学所定の崇城大学パイロット養成プログラム（計「637.5」時間）を修めたことをここに証する。

プログラムの概要 (注)	本プログラムは、主として「パイロットを目指す社会人」である者を対象として、「パイロットとしての基本的な姿勢や考え方、および操縦技能の基礎を身につけた即戦力となる」ような人材（能力）を養成することを目的とし、「対面式の座学での講座」、「対面式でのFTD（飛行訓練装置）を利用した模擬飛行訓練」、「対面式での実機訓練」等を内容としたカリキュラムを提供するものである。
-----------------	---

	資格名	資格取得日	飛行時間	備考
取得資格	自家用操縦士技能証明			
	事業用操縦士技能証明			
	(単発合計)			
	多発限定			
	計器飛行証明			
	(双発合計)			
	総飛行時間			

	科目名	時間	評定
成績	航空法規	19.5	
	航空交通管制	16.5	
	航空気象学	27	
	空中航法	16.5	
	航空機システム	19.5	
	航空力学	19.5	
	運輸概論	4.5	
	操縦学Ⅰ（単発）	120	
	宇宙航空工学プロジェクトⅠ	230	
	航空安全Ⅰ（事故事例）	4.5	
	航空安全Ⅱ（CRM）	4.5	
	操縦学Ⅱ（双発）	84	
	宇宙航空工学プロジェクトⅡ	70	
	修了論文	1.5	
	合計	637.5	

上記のとおり証明する

西暦00年00月00日

崇城大学学長 中山峰男



〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1

TEL 096-326-3111 (代表)

FAX 096-326-3000

Mail kyomu@ofc.sojo-u.ac.jp

教務課直通 096-326-3406